



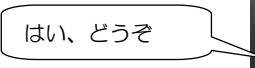

## <ごっこのめばえ>



		0 歳 児	
ね ら い		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者の愛情豊かな受容とかかわりの中で、やりとりを十分に楽しむ。</li> <li>○身近な人と親しみ、かかわりを深め、愛情や信頼感をもつ。</li> </ul>	
内 容	健康 人間 関係 環境 言語 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びの中で、手足や体を十分に動かし楽しむ。</li> <li>・身近な大人や友達に関心をもち、模倣したり楽しんだり、親しみをもって自らかかわろうとする。</li> <li>・好きな玩具や、遊具に興味をもってかかわり、様々な遊びを楽しむ。</li> <li>・安心できる保育者とのかかわりの中で、簡単な歌や手遊びに興味をもち、喃語や片言を言う。</li> <li>・保育者と一緒に、簡単なふれあい遊びや、ハンカチ遊びをする中で、リズムに合わせて、手足や体を揺らして楽しむ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;">                     ○歳児が楽しめる手遊び                      「むすんで ひらいて」                      「げんこつ山のためきさん」                      「じいじいばあ」                 </div>	
子 ど も の 姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互い興味を示した物の取り合いで、「わー」「やー」など声を発し、相手を押ししたり、噛みつこうとしたり、泣いて取り戻そうとすることもある。</li> <li>・ハンカチや絵本など、興味を示した物に、自分から触れ「あーあー」などの声を発し、笑顔を見せる。</li> <li>・保育者の真似をして、ハンカチをゆらし「ばあ」と、言葉にし自分からかわろうとする。</li> <li>・保育者の歌声や、身振り手振りに合わせて体を揺らし、拍手などして楽しむ。</li> <li>・保育者の真似をしている姿に、「上手だね」などの言葉かけをされると嬉しそうに何度も繰り返し行う。</li> <li>・身振り、片言などで、自分の要求を保育者に伝える。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">   <div style="margin-left: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                         じいじいばあ                          ○○くんの                          かおが                          みえた！                     </div> </div> </div>	
援 助 ・ 配 慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1対1のかかわりを求める子が複数になると、トラブルになることもある。危険のないよう全体に目を向けるとともに、保育者同士が声をかけ合い、連携を図る。</li> <li>・玩具を多めに用意し、数人の子どもが一齐に使えるようにする。</li> <li>・手や口が出てしまう子どもには、保育者がそばについて一緒に遊びを共有し、未然に防げるようにする。トラブルになりそうな時には、子どもの思いを受け止め、共感して気持ちが落ち着けるようにする。</li> <li>・保育者と一緒に静かな、ゆったりとした時間を過ごす中で、心地よさを伝える。</li> <li>・甘えたい気持ちを十分に受け止め、抱っこや手遊び、ふれあい遊びをしながら1対1のかかわりを大切にする。</li> <li>・手遊びや体を使った遊びを、言葉や身振りで繰り返し伝え、子どもの動きを保育者も真似て、一緒に楽しむ。</li> <li>・子どもの要求を受け止め、状況に合った言葉を添えながら、保育者とのやりとりを楽しめるようにする。</li> </ul>	





## <つもり遊び>

		1 歳 児
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育者を仲立ちとして簡単なつもり遊びを楽しむ。</li> <li>○遊びを通して言葉のやりとりを楽しむ。</li> </ul>
内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲の大人や友達がすることに興味をもち、なりきって遊ぶ。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つもり遊びをすることで、さまざまな人、物に興味をもつ。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者と一緒に簡単な見立てや、つもり遊びを楽しむ。</li> </ul>
	言語表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と簡単な言葉のやりとりを楽しむ。</li> </ul>
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達、大きい子のすることをよく見ていて真似したがる。エプロンや三角巾を着けて、ままごとの食べ物を食べる真似をしたり、料理を作る真似事をしたりする。</li> <li>・人形をおんぶしたり、抱っこしたりして遊ぶ。</li> <li>・保育者の手伝いをしようとする。</li> <li>・自分から保育者や友達、物とかかわろうとする。</li> <li>・バックに荷物を入れて、「いってきます」とお出かけしたり、「ただいま」と帰ってきたりして保育者とのやりとりを楽しむ。</li> <li>・「いれて」「かして」「どうぞ」「おいしいね」など言葉のやりとりをしながら楽しむ。</li> <li>・友達の持っている物が欲しくて取ろうとしたり取り合いになったりする。</li> </ul> <div style="text-align: center;">  </div> 
援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・見立てやふりが楽しくなるような物を用意する。(ままごと道具、バック、エプロン、ブロック等)</li> <li>・一人で十分に遊びこめる空間を作ったり、遊びに必要な玩具の数を十分にそろえたりする。</li> <li>・エプロンやおんぶひも等が首に絡まったり、子ども同士で引っ張り合ったりすることのないように十分気を付ける。</li> <li>・遊びが継続するように子どもの様子を見守ったり、子どもの反応を見ながら、保育者も役になりきって、一緒に楽しんだりする。</li> <li>・物の取り合いのトラブルが起きた時は、「〇〇ちゃんも使いたかったのね」「貸してって言おうか」などと保育者が仲立ちとなり、やりとりを伝える。</li> <li>・保育者も一緒に遊びながら、子どものつぶやきや言葉を受け止め、遊びのイメージが膨らむようにかかわる。</li> </ul>



## ＜お店屋ごっこ＞



		2 歳 児
ねらい		<p>○体験したことや興味のあることで、保育者や友だちとやりとりしながらごっこ遊びを楽しむ。</p> <p>○友達とかんたんな言葉のやりとりを楽しむ。</p>
内容	健康 人間関係 環境 言語 表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と一緒にごっこ遊びをする。</li> <li>・自分の好きな役を選び、友達と一緒に言葉や動きのやりとりをしながら、ごっこ遊びを楽しむ。</li> <li>・3、4、5歳児クラスのお店屋さんへ行き、雰囲気を楽しんだり、自分の好きなものを買ったりする。</li> <li>・言葉や身振りなどで表現しながら役になりきって遊ぶ。</li> </ul>
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のなりたい役を選ぶ。</li> <li>・家庭での親の姿や、レストランや外出時に見聞きした体験を、真似てやろうとする。</li> <li>・自分が使いたいものが使えず取り合いになったり、自分のなりたい役になれず友達とトラブルになったりすることもある。</li> <li>・エプロンや三角巾を着け、役になりきって遊ぶ。</li> <li>・友達と一緒に机の上にお皿を並べたりしながら、「いらっしゃいませ」「何がいいですか？」など言葉のやりとりを楽しむ。</li> <li>・保育者に御馳走を食べてもらうなど、受け止めてもらって満足する。</li> <li>・自分の世界を楽しみたい子どもは、他の友達がはいると「だめよ」と拒む姿が見られたり、遊びをやめてしまったりすることもある。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>なに つくろうかな～</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>いらっしゃいませ～</p>  </div> </div>
援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おもしろそう」「やってみたいな」と思えるような御馳走や食器類、調理用具などを用意する。</li> <li>・子どもの興味・関心に合わせて、身に着けるものや、お店の品物の種類を増やしたりして、保育者や友達と一緒に遊びをふくらませる。</li> <li>・子どもの発想やつぶやきを受け止めながら、「〇〇ちゃんのおいしそうですね」など保育者が仲立ちとなり友達とのやりとりをつなげていくようにする。</li> <li>・自分の思いや相手の気持ちにきづけるように「いいよ」「貸して」「だめよ」など言葉にして相手に伝えられるようにする。また、保育者が相手の思いを言葉にして知らせる。</li> <li>・3、4、5歳児クラスでのお店屋ごっこに招待してもらうなど、異年齢との関わりが楽しめるようにする。</li> </ul>




## ＜お店屋ごっこ＞

		3 歳 児
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近な生活の中で見たことや経験したことを真似て楽しむ。</li> <li>○友達と共通のイメージをもって簡単なやりとりをしながらごっこ遊びを楽しむ。</li> </ul>
内 容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごっこ遊びに興味をもち気の合う友だちと楽しむ。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達との遊びの中で保育士の仲立ちにより相手の思いに気づく。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近なお店や売り買いのやりとりに興味をもつ。</li> </ul>
	言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者や友達と言葉のやりとりを楽しむ。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にある素材で好きなように作ったり遊んだりする。</li> </ul>
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが自分のなりたいお店屋さんになって保育者がお客さんになり楽しんでいる。</li> <li>・どんなお店屋さんがあるのか友達とイメージを共有しながら遊ぶ。</li> <li>・「いらっしゃいませ」「これください」「〇〇円です」などの簡単な言葉で友達とやりとりをしながら楽しむ。</li> <li>・4、5歳児クラスのお店屋さんを見て、様々なお店を知り真似てやろうとする。</li> <li>・友達とのやりとりの中で自分の思いが通らず自己主張がぶつかったり、物の取り合いをしたりして遊びから抜けてしまうこともある。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>
援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びへの興味もてるように保育者も一緒に遊びの中に入り、遊ぶ楽しさや満足感が味わえるようにする。</li> <li>・保育者も「これください」「いくらですか」など役になりきったり、やりとりをしたりする中でイメージがふくらむよう共感的な声掛けや関わりをする。</li> <li>・子ども達のイメージを共感しながら遊びの援助をする。</li> <li>・遊びが発展できるようにエプロンや三角巾などの道具を用意し、必要な時に一緒に作れるよう材料などを準備し、場所を設ける。</li> <li>・4、5歳児クラスのお店屋ごっこに保育者も一緒に行き、様々なお店があることや売り買いが楽しめるような言葉のやりとりを知らせる。</li> <li>・友達と関わって遊ぶ中で物の取り合いなどのトラブルになった時は保育者が仲立ちに入り、互いの気持ちを受け止めながら相手の気持ちにも気づけるようにする。</li> </ul>


# ＜お店屋ごっこ＞



		4 歳 児
ねらい		<p>○友達や保育者と一緒にやりとりをしながら、役になりきってお店屋ごっこを楽しむ。</p> <p>○身近な社会生活を模倣しながら、友達とイメージを共有し、遊びを楽しむ。</p>
内容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループごとにお店屋ごっこをしてやりとりを十分に楽しむ。</li> <li>・自分のイメージを相手に言葉や動作で伝えようとする。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売り買いをするのに必要なものがわかり、他のものを見立てたり、自分達で作ったりする。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単なきまりや約束を守りながら遊ぶ。</li> </ul>
	言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物に必要な言葉を使ってやりとりをする。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の思いに気づいたり、受け入れたりすることができるようになる。</li> </ul>
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚屋さん、ネックレス屋さん、八百屋さんなどやりたいお店屋の名前が子ども達から出る。</li> <li>・お店屋ごっこには、看板、商品やチケットが必要であることに気づき、自分達で作ろうとする。</li> <li>・子ども同士で売り手、買い手の役割をしながら、「いらっしゃいませ」「～をください」「〇〇円です」「ありがとうございました」などの言葉を使ったやりとりをしながら、なりきって遊ぶ姿がある。</li> <li>・言葉でのやりとりがスムーズにできない子どももいる。</li> <li>・普段の生活の中で聞いている大人の口調をそのまま真似て子ども同士でやりとりをする。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>〇〇さんですよ やすいですよ</p> <p>このリボン すてきですよ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のやりたいお店屋につけなかったり、売り手、買い手がもっとやりたいなどの気持ちから上手く交替できず、トラブルになったりすることもある。</li> </ul> </div> </div>
援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩に出かけたりしながら、近所のお店屋をのぞいたり、家族と買い物に行ったときのことなどをみんなで話しあったりする。</li> <li>・お店屋ごっこに必要な材料やはさみなどの用具を十分に用意しておく。</li> <li>・はさみなどは危険のないよう十分に扱い方を子ども達と一緒に確認する。</li> <li>・子どもの発想を大切に、友達と一緒にイメージをもって遊ぶ姿を見守ったり「〇〇したら〇〇になるよ」などさらにイメージを膨らませられるような助言したりする。</li> <li>・保育者も一緒に遊びに入りながら、お店屋ごっこを楽しむ。</li> <li>・やりとりの言葉がスムーズにできない子どもには、傍で一緒にやりとりを見せながら遊びに誘う。</li> <li>・お店屋ごっこの遊びが展開していくように、衣装やエプロンを用意したり、テーブルやイスなどの場の設定をする。</li> <li>・トラブルが生じたときは、なるべく見守りながら、必要に応じてお互いの気持ちを伝えるようにする。</li> </ul>



## <お店屋ごっこ>

		5 歳 児
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> <li>○友達とのつながりを深めながら、主体的に活動に取りくむ。</li> <li>○友達とイメージを共有し、共通の目標に向かって協力をしながらお店屋ごっこを楽しむ。</li> </ul>
内 容	健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループやクラス全体で取りくみ、一緒に活動する楽しさや充実感を味わう。</li> <li>・遊びに必要な決まりや役割を自分たちで決めて遊ぶ。</li> </ul>
	人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いに認め合い、同じ目的に向かって協力して取りくむ。</li> <li>・異年齢児を招待し、関わる中で思いやりやいたわりの気持ちをもつ。</li> </ul>
	環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共用の遊具や用具を譲り合って大切に使う。</li> <li>・経験したことや、想像したことを取り入れて遊ぶ。</li> </ul>
	言語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やりとりの中で、数量、図形、文字に関心をもつ。</li> </ul>
	表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いや考えを相手にわかるように話し、相手の話も聞いて理解しようとする。</li> <li>・共通のイメージをもちながら、遊びに必要なものを作ったり工夫したりする。</li> </ul>
子どもの姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間意識が高まり、互いに認め合いながら遊んでいる。</li> <li>・共通のイメージをもちながら、「アイスはイチゴ味とチョコ味を作ってみよう!」、「ネックレスはきらきら光る紙を使ったほうが可愛くできるんじゃない?」等、本物らしさを求めて友達と一緒に考えたり、工夫したりする姿がある。</li> <li>・お金のやりとりをする人は時間を決めて順番で行ったり、売り切れるまでみんなと呼び込みをがんばったり、自分たちで考えた決まりや役割にそって遊ぶ。</li> <li>・品物を作ったり売り買いを経験したりするなかで、数を数えたり文字を読み書きしようとしたりする姿がある。</li> <li>・お店屋さんごっこ当日に向けて、看板を作ったり、ちらしを配ったりしながら、異年齢の友達を招くことをとても楽しみにする。</li> <li>・思いを伝え合う中で喧嘩になることもあるが、相手の思いを受け入れながら、自分たちで解決しようとする。</li> </ul> 
援助・配慮		<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近にあるお店に行き、どんな品物があるかを調べたり、店員と客がどんな言葉のやりとりをしているかを観察したりしながら、個々のイメージが具体化していくような機会を作る。</li> <li>・どんなお店にしたいのか、何の素材や用具が必要なのか子ども同士で意見交換できる機会を作り、必要に応じて保育者も一緒に考える。</li> <li>・遊びの様子や展開の仕方にあわせて、モール、花紙、自然物等の素材や、ガムテープ、セロテープ、ポンド等の用具を用意したり追加したりしながら、イメージが膨らむようにする。</li> <li>・子どもの意欲を大切に、品物作りや、やりとり等が継続して取り組めるような場や時間を作る。</li> <li>・数や文字に対して関心をもちはじめたときに、すぐ取り入れられるよう、数や文字表を用意し、保育者も一緒に書き、書くことの楽しさを味わえるようにする。</li> <li>・友達とイメージを出し合ったり、工夫して取り組んだりしている過程を大事にしながら、一人一人が充実感を味わえるようにする。</li> <li>・一人一人のよさを十分に認め、友達の考えや思いに耳を傾けられるような援助をしていくことで、子ども同士のつながりが深まるようにする。</li> </ul> 